

第27回
長野県母子衛生学会
総会・学術講演会プログラム

日時・会場： 令和6年10月26日（土）

（最終頁に案内図があります）

10：30～12：00 助産師支援研修会（受付開始 10:00～）
信州大学医学部地域保健推進センター3階

13：30～17：15 総会・学術講演会（受付開始 13:00～）
信州大学医学部地域保健推進センター3階

17：30～18：00 意見交換会
信州大学医学部保健学科北校舎1階

オンデマンド配信： 令和6年11月2日（土）12:00～11月16日（土）12:00

参加形態	学術講演会 参加費	助産師支援研修会 参加費
1. 会員 個人参加	2,000 円	1,000 円
2. 非会員 個人参加	4,000 円	2,000 円
3. 施設参加	20,000 円	20,000 円

*申し込みは事前登録、参加費は振込をお願いしております。

主催：長野県母子衛生学会

共催：信州大学医学部地域保健推進センター

【お問い合わせ先】長野県母子衛生学会事務局
松本市旭3-1-1 信州大学医学部保健学科内
e-mail : nagano-boshi@shinshu-u.ac.jp

学 会 プ ロ グ ラ ム

時 間	内 容	会 場
10:30～12:00	助産師支援研修会	信州大学医学部 地域保健推進センター3階
12:15～13:15	理事会	信州大学医学部 地域保健推進センター2階
13:30～13:50	総会	信州大学医学部 地域保健推進センター3階
14:00～15:50	一般口演	
15:55～16:05	学術情報提供	
16:15～17:15	特別講演	
17:30～18:00	意見交換会	信州大学医学部保健学科 北校舎1階

註1：本学会は以下の交付対象です。

- ・ 『日本専門医機構』産婦人科学術集会参加1単位
(注；産婦人科領域のみ単位として申請可能です)
- ・ 『日本専門医機構』産婦人科領域講習1単位 (注；現地参加でのみ発行されます)
- ・ 『日本周産期・新生児医学会』周産期専門医研修会2単位
- ・ 『日本産婦人科医会』研修参加1単位
- ・ 『日本助産評価機構』アドバンス助産師 選択研修修了証 (特別講演)
- ・ 『日本助産評価機構』アドバンス助産師 必須研修「妊娠期の栄養」修了証
(注；要課題提出)
- ・ 『日本助産評価機構』アドバンス助産師 学会参加証

註2：お車でお出かけの方は、信大病院駐車場をご利用ください。(有料)

助産師支援研修会

* 『日本助産評価機構』アドバンス助産師 必須研修「妊娠期の栄養」要課題提出

10：30～12：00

「妊娠期の栄養」

信州大学学術研究院 人文社会科学域 教育学系

信州大学教育学部 家庭科教育グループ 准教授 沖嶋 直子 先生

研修会アンケートはこちらからお願いします⇒



一 般 口 演

I 群

座長 中田 覚子 (佐久大学)

江田 真理 (長野県立こども病院)

14 : 00 ~ 14 : 50

1. 母体搬送にて入院となった切迫早産妊婦の運動療法に対する思い

長野県立こども病院第3病棟

○米山椎奈、近藤里栄、北澤理恵

A 病院では静脈血栓症や廃用症候群を予防するために、入院している妊婦にストレッチや筋力維持トレーニングを行う運動療法を推奨している。母体搬送にて入院となった切迫早産妊婦が抱く、運動療法に対する思いを質的に分析したので報告する。

2. A 病院における妊婦のドメスティック・バイオレンスの現状把握

信州大学医学部附属病院南4階病棟

○藤井恵美子、宮島真歩、太田まさえ

A 病院は様々な背景の妊婦が存在し、ドメスティック・バイオレンス (以下 DV と示す) に繋がる可能性も懸念されるが、DV スクリーニングは行っていない。本研究では、女性に対する暴力スクリーニング尺度を用いて、A 病院の現状を明らかにすることを目的とした。

3. 助産師が行う会陰縫合の安全性についての報告

諏訪赤十字病院4東病棟

○内藤尚子

当院では2013年より院内助産を実践し、会陰Ⅱ度裂傷までは助産師が縫合を行っている。昨年、助産師が行った会陰縫合の経過を産褥4日目までと1ヶ月健診時で確認した結果、助産師の会陰縫合の安全性を見いだせたので報告する。

4. 出生前相談外来立ち上げにあたって~子育て支援を含めた情報提供を目指して~

JA 長野厚生連北信総合病院小児周産期センター

○土屋千恵、野池雅実、高野宏太、徳永美樹、志田紗矢香、長田亮介

「無侵襲的出生前遺伝学的検査 (NIPT) 等の出生前検査の認証制度」が開始され、当院では連携施設として、出生前相談外来の立ちあげ準備中である。基幹病院の医師・トリソミーの子を持つ母親らによる講演会を開催し、前後でアンケートを実施し、情報提供のあり方を検討した。

5. 出生前診断 (いぶき外来) における助産師の取り組み

飯田市立病院周産期センター

○久保田綾子、松下美奈子、荒井美介恵

A 病院は連携施設として、2023年10月より出生前診断 (いぶき外来) を開始した。受診者の約3割は遺伝カウンセリングや検査の正しい情報提供により、NIPT 受検を希望しなかった。当院の受検状況や、担当したスタッフの役割と今後の課題について検討したので報告する。

II 群

座長 池田 枝里 (飯田市立病院)
太田まさえ (信州大学医学部附属病院)

15 : 00 ~ 15 : 50

6. 参加者交流を主軸にした出産準備クラスの取り組み
～子育ておしゃべり会実践からの考察～

信州大学医学部保健学科

○芳賀亜紀子、徳武千足、鮫島敦子、佐藤優香、金井誠、中込さと子

2022 年度から妊娠中の夫婦を対象とした出産準備クラス「子育ておしゃべり会」を月 1 回実施している。参加者交流を主軸に、対面で実施した 2023 年度の実践からの考察を報告する。

7. 遠隔診療専用車両を活用した産後健診、妊婦健診の実践

菜の花マタニティクリニック

○林美恵、有賀志保、赤羽洋子

本学会にて山間部在住妊産婦への支援として、伊那市の遠隔診療専用車両「伊那ヘルスマビリティ」を活用した産後健診と妊婦健診を報告した。妊産婦のニーズに応じた柔軟な対応を構築し、2021 年 12 月から 2024 年 8 月までに計 91 件の実績を得た。本報告では多様な事例を通じ、山間部遠隔医療の可能性と課題を考察する。

8. 成人移行期支援におけるこども病院助産師としての役割について

～特性のある患者へ性教育を実施した症例から考える～

長野県立こども病院第 3 病棟

○森田梓帆里、江田真理、近藤里栄、倉科美穂子

成人移行期支援は、小児医療の大きな課題である。今回、自己導尿が必要な慢性疾患を抱えた思春期患者に性教育を行った。疾患の背景だけでなく、患者の成長・発達に合わせた性教育は、重要な移行期支援の一つであり、小児専門病院の助産師としても大きな役割であると考える。

9. 臨床助産師を模擬産婦とした客観的臨床能力試験 (OSCE) の有用性と課題

佐久大学助産学専攻科

○柴田香菜子、中田覚子、竹内良美、湯本敦子

実習前教育の充実を目指し、助産師養成課程(1 年課程)の学生に対し、学生と面識のない臨床助産師を模擬産婦とした実習前 OSCE を実施した。教員を模擬産婦とした従来の実習前 OSCE と比較し、その有用性と課題を検討したため報告する。

10. Mirror 症候群と黄体化過剰反応 (Hyperreactio luteinalis) を合併した 1 症例

信州大学医学部産科婦人科学教室¹⁾、信州大学医学部保健学科²⁾

○村里 美優花¹⁾、小野 元紀¹⁾、田中 泰裕¹⁾、浅香 亮一¹⁾、布施谷 千穂¹⁾、
菊地 範彦¹⁾、金井 誠²⁾、塩沢 丹里¹⁾

Mirror 症候群は胎児水腫、母体浮腫、胎盤浮腫を 3 徴とし、高 hCG 血症を伴う場合がある。黄体化過剰反応は hCG 刺激に対する過剰な反応により両側卵巣が急激に増大する疾患である。今回、妊娠 15 週で Mirror 症候群に伴う高 hCG 血症により黄体化過剰反応を呈し、待機的管理を行なった症例を報告する。

学 術 情 報 提 供

15 : 55 ~ 16 : 05

1. 産科領域 : ①妊娠中のRS ウイルスワクチン投与に関して

②新生児聴覚スクリーニング陽性者のCMV 核酸検査に関して

信州大学医学部産科婦人科学教室

菊地 範彦 先生

2. 小児科領域 : 松本大北地域 出産・子育て安心ネットワークについて

信州大学医学部小児医学教室

三代澤 幸秀 先生

特 別 講 演

16 : 15～17 : 15

座長 : 金井 誠 (信州大学医学部保健学科 教授)

「産婦人科診療ガイドライン産科編 2023:改訂のポイント」

講師 : 長崎大学産科婦人科学教室 教授

産婦人科診療ガイドライン産科編 2023 作成委員長
三浦 清徳 先生

* 『日本助産師評価機構』 アドバンス助産師選択研修

意 見 交 換 会

17 : 30～18 : 00

長野県母子衛生学会総会・学術講演会及び研修会会場へのアクセス



* お車でお越しの際には、信大病院駐車場をご利用ください。
サービス券をお渡しいたします(駐車場代200円)。